

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372001418
事業所名	グループホームたけのこ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  地域との積極的な交流があり、地域からも一定の評価を受けて社会資源としての役割を担っている。 地域の保育園との交流は、双方に益する取り組みとなっている。	評価  ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  家族や自治会長、民生委員、保育園長等が会議に参加し、利用者も全員参加である。 スライドでの活動報告とユニット毎の報告の後、質問に答える形で利用者にも発言の機会があり、積極的に討議に加わっている。	評価  ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）  事務長が豊富な経験を活かして、市の高齢者福祉介護保険事業計画運営委員として活動している。 市の「徘徊SOSネットワーク」に登録し、自ホームだけでなく地域の認知症高齢者の見守り役となっている。	評価  ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  家族の協力や信頼が得られており、家族アンケートには満足感のあふれたコメントが寄せられた。 専門的な見地からレベルの高い意見(苦情)を表す家族もいるが、法人代表(管理者)は真摯に受けとめ、改善につなげようとしている。	評価  ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価  ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○				